学校番号	2004

令和８年度　書道科

教科	芸術	科目	書道表現β	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本科目は、書道Ⅰ、Ⅱ、や書道表現αを選択していない生徒と何かしらの書道科目を履修済みの生徒が混在する可能性が高い科目となる為、古典の書法にもふれつつもなるべく手本がない状態でも様々な表現の幅をもった作品が制作できるように授業展開していきたい。

・用具用材の特徴と表現効果との関わり、線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解し、目的や用途に即した表現の技能を身につけるようにする。
・全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できるようにする。
・自身の表現の意図に基づく表現の学習活動に主体的に取り組み、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。

2　学習の到達目標

1. 書の表現の方法や形式・多様性などについて幅広く理解するとともに、用具用材での表現効果の違いや書の美の要素を理解し効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
2. 生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えたりできるようにする。
3. 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生涯や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・効果的に表現するための基礎的な技能を身につけている。	・字形、文字の大きさ、全体構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、現代に生きる表現について構想し工夫している。作品の価値と生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	・自身の表現の意図に基づく表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	篆刻	・篆刻の用具、用材や創作の手順について理解し、篆刻の仕方について学習する。 ・姓名印を作る。	a: 用具用材に関する知識や、道具の扱い方を理解している。 b: 篆刻の美しさを理解し表現を工夫している c: 落款の意味とその役割、篆刻の意義と技法について理解し意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート
	書の美の要素	・書風(個性)の構成要素 文字のデザインについて 書風と字形の重要性 (字体・書体・書風・字形) イメージをカタチに 用筆・運筆法について 線質のバリエーション 字形のデフォルメ 構成の実験 墨色の工夫	a: 書の構成要素を理解し、その技能を身につけている b: 表現のねらいを達成するために、効果的、魅力的に伝えるための構成要素を工夫している。 c: 表現の構想から完成にいたるまで、意欲的・主体的に表現活動に取り組もうとしている。	ワークシート 活動の様子	活動の様子 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート
	創作①	学んだ技術や表現方法をいかした作品制作 「1～2 字作品」 表具 ・色紙作品 ・仮想看板等 コンクール、書道展へ出品	a: 書風の構成要素を理解し、物のもつイメージに合わせた表現技法を身につけている。 b: 表現のねらいを達成するために、効果的、魅力的に伝えるための構成要素を工夫している。 c: 表現の構想から完成にいたるまで、意欲的・主体的に表現活動に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート

後期	実用書	手法を変えることで生まれる特有の字体や構図をいかした作品制作 筆文字(筆ペン) ゆる文字 ・ 己書 贈答用語 メニュー表 季節のはがき等	a: 筆ペンに関する知識や扱い方、デザイン書を書くための基本的な表現技法を身につけている。 b: 表現のねらいを達成するために、効果的、魅力的に伝えるための構成要素を工夫している。 c: 表現の構想から完成にいたるまで、意欲的・主体的に表現活動に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート
	創作②	用具用材の工夫 「割り箸で書」 ・童謡 ・名言(英文) 「デザイン紙袋」等	a: 道具を変えることで生まれる特有の線質を理解し、その基本的な点画や線質の表し方、用筆・運筆の技能を身につけている。 b: 自己の表現のねらいを達成するために、用具用材の特性をいかした表現を構想し工夫している。 c: 用具用材の工夫による表現の多様性とその技法に関心をもち、意欲的、主体的に表現活動に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート
	創作③	「フォトとデザイン書」 ・写真や言葉を素材に写真と言葉を合成した作品制作	a:写真と言葉(文字)がどのように影響し合うのかを理解し、字形、線質、構成等、効果的な表現の技能を身につけている。 b: 自己の表現のねらいを達成するために、自らの表現意欲を高め、用具・用材・線質・字形・全体の構成などについて工夫している。 c: 構想から完成にいたるまで、意欲的・主体的に表現活動に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	ワークシート 提出作品	活動の様子 提出作品 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度